

道ばたに見る春の草たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

キュウリグサ



■ キュウリグサ

写真1（上）：4月，灘区．花．

写真2（右）：2月，中央区．ロゼット．



ロゼット（写真2）は，地面近くに，長短の柄の先に重なりをさけるようにして四方八方に葉を広げ，冬の日射しをしっかりと受け止め，花の時期を待っています．

うすい紫色の小さな花をつけた茎は，はじめ，柴犬のしっぽのように巻きこんでいますが，花が開くにしたがって，下からほどけるようになって，次々と花が咲き上がっていきます．春早くから咲きはじめ，5月の終わりごろでも花の残っていることがあります．よく似たものにハナイバナがありますが，市街地ではめったに見られません．宝さがしのつもりで挑戦してみましょう．

■ハナイバナ

写真3（下）：4月，灘区．花．



キュウリグサの花序（花のつきかた）とは違って，先が巻くことはなく，葉の形をした苞（ほう）のわきか，それらの間につくので区別できます．花はキュウリグサと同じように先が5つにさけていますが，もとの方は筒状です．このような花を合弁花といいます．ムラサキ科というなかまに入られています．

[このページのPDFファイル](#)



[トップページへもどる](#)